

○事業所名	放課後等デイサービス ひだまり		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 14日		2025年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日		2025年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者さんが楽しく通っている。長く利用される方が多い。 ・多様なプログラム、作業療法士による運動遊び、音楽療法などの内容は「楽しさ」重視 ・子どもの自主性に任せた創造的な自由遊び、役割(仕事)	子どもたちが自ら役割を見つけ、主体的に行動する環境作り ・日々のクラスリーダー ・お仕事達成一覧 行った人の表示 ・事業所で体験できるものでのチャレンジ…コピー機、シュレッダー、パソコン	・保護者への対応 カフェ・研修会・ペアレントトレーニング ・きょうだいへの取り組み
2	避難訓練の取り組み 頻発する自然災害だけでなく、不審者からの身の守り方など幅広く取り組んでいる。	・全員が取り組めるよう曜日を振り分けて実施 ・避難所となっている沢池小学校までの経路を徒歩で往復 ・明石市消防本部は徒歩圏内(見学) ・ヘルメットは直ぐ被れるよう玄関に並べて置いている	ご家族で災害や避難について話し合ってもらえるようなツールを提供できればと考えています。
3	職員間のコミュニケーションが良好で情報共有が円滑におこなわれている	日々のミーティング ・保護者からの連絡、相談の周知。 ・当日の利用児の留意点、具体的な支援内容が共有される。 役割分担でより良いケアが提供できる。 ・臨機応変に職員同士がフォローしあい支援の幅が広がる	職員全員にPDCAを回していることを共有できる様にもっと工夫する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	思い切り身体を動かして遊べる発散できるスペースはない 2階も使う(階段がある)	利用者の人数に対して療育スペースが十分とはいえない	(気候の良い時期は) レベルを合わせたグループを作り、屋外で思い切り身体を動かせるプログラムを増やす
2	定員が20人になり、(支援記録等の) 事務作業の負担が大きくなっている	定員20人体制になって間がない	事務作業にとられる時間ももっと療育・支援に使えるように。事務作業のデジタル化(療育サポートアプリの導入)を考えている。保護者アンケートを実施し賛同いただければ導入する
3	関係機関との連携については職員全体に共有されているとはいえない	・地域に働きかけてはいるが盛り上がらない、希薄。 ・関係機関の情報が個別の事例の中に散在した形で伝えられている	・地域への働きかけの工夫が必要 ・関係機関について体系的に情報共有する